

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

平成23年5月23日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873100937		
法人名	有限会社 美野里メディカルサービス		
事業所名	グループホーム つつじ	ユニット名	西
所在地	311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼2-278		
自己評価作成日	平成22年10月25日	評価結果 市町村受理日	平成23年6月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年12月10日	評価確定日	平成23年5月23日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者様が 快適に暮らせる様に職員・家族が協力して援助するようにしています 家庭菜園や草花を一緒に育て お互いが協力しながら生活出来るようにしています
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「家庭的でゆったりとした雰囲気の中、これまでの生活を大切にしながら、地域の中で共に暮らせるよう、いまに寄り添っていきます」という地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を新たに全職員で話し合い作成し、元気で笑顔をモットーに支援をしている。 職員は全利用者がおむつを使用しなくて済むよう取り組むとともに、排泄の自立に向けた支援に努めており、殆どの利用者が日中は布パンツで過ごせるようになっている。 ユニット間の交流が盛んで、利用者が毎日配達される新聞や牛乳を各ユニットに配達したり、カラオケを合同で行ったりしている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	つつじの理念を理解し 又 何かあるたびに話し合っています	前回の外部評価結果を受けて全職員で話し合い、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成し玄関や各ユニットのホールに掲示するとともに、職員は申し送り時に暗唱して共有を図り、理念の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設の行事等への参加を掲示し参加を呼びかけ 参加していただいている 地域の空き缶拾い・保育園の夏祭りの参加などに参加している	利用者は散歩時に近隣住民と挨拶を交わしたり地域の清掃活動に参加するなど、地域の一員として日常的に交流している。 利用者は近隣保育園の夏祭りに招待されて参加するほか、事業所の納涼祭や敬老会、運動会などには近隣住民の参加を得ている。 行事時に大正琴や日本舞踊、生バンドのボランティアの出演が恒例となり、利用者は近隣住民やボランティアと顔馴染みになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を開いて話し合っています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開かれる会議においてホームの状況報告をし 皆さんからの意見をお聞きしています サービスの質向上に役立っています	運営推進会議は町職員や地域包括支援センター職員などが出席し2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の行事やサービス状況の報告を行うとともに、現状における問題点や外部評価結果の説明をし、出席者の助言や意見を得ながらサービスの質の向上に活かしている。 前回の外部評価結果を受けて委員を地域から幅広く募るなど新たな取り組みをしている。 会議の内容は職員に伝え話し合うとともに、欠席した委員にも議事録を郵送している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を開くことで以前より協力関係はもてるようになったと思います。介護保険課・包括支援センターの職員がメンバーになっていることからアドバイスを頂いています	運営推進会議に町担当者や地域包括支援センターの職員が毎回出席している。管理者は事業所の実情や疑問点、相談ごとなどを機会あるごとに町の担当窓口へ出向いたり電話等で伝え、積極的に協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内に身体拘束に関するポスターを掲示することや研修にて職員は十分理解できている	身体拘束排除に関する取り組みのポスターを玄関に掲示するとともに、職員は日々身体拘束をしないケアの実践に努めている。管理者は職員の理解を深めるために内部勉強会を実施しているが、マニュアルを作成したり研修の記録を残すまでには至っていない。事業所のすぐ前が幹線道路になっており、交通量が多いため玄関を施錠しているが、居室から中庭に出られるなど、利用者の自由な生活を支援している。	「身体拘束をしないケアの実践」のためのマニュアルを作成するとともに、職員が内部研修や外部研修を受講してより一層理解を深められるように取り組むことを期待する。 実施した研修の内容は、記録に残すことが望まれる。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士のコミュニケーションを取りストレスを抱えないようにしています 言葉かけについてもお互い注意しあうようにしています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	契約書にも書いてあり、成年後見人制度については掲示しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に記載しています 成年後見人制度については 掲示しています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱の設置 苦情窓口の掲示をしています	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 職員は利用者や家族等が運営推進会議に参加した際や、面会時に要望や意見を聴く機会を設けている。 出た意見や要望は苦情ノートに記録し、職員等で話し合っているが、問題点や経過、結果、報告までの過程を記録するまでには至っていない。 家族等へのアンケートを実施するまでには至っていない。	利用者や家族等から出た意見等は、問題点や経過、結果、報告までの過程を記録することが望まれる。 意見を出しにくい家族等に配慮して、具体的な項目に絞ってアンケートを実施し、意見等を汲みあげて運営に反映させるよう取り組むことを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週定期的に 会議を行っています	代表者が月1回開催する法人内の職員会議や、管理者が開催する週1回の事業所の合同ミーティングのほか、各ユニット毎にミーティング等を行い、職員から意見や要望を聞く機会を設けるとともに、普段から意見等を出し易い雰囲気づくりに努めているが、より具体的な職員の意見等を反映できるように取り組むまでには至っていない。	研修受講に関する要望など、職員のより具体的な意見等を運営に反映できるよう、アンケートの実施に取り組むことを提案する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者の理解の下で それぞれの個性を 生かし 良い点を認め合いながら 仕事ができる様にしています コミュニケーションを取り合える環境作りに努めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講習・研修の案内を公開しています 勤務表の配慮はあります		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設に研修に出ています 行事等には 社会福祉協議会などに協力や助言をお願いしています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族からの情報を取りながら本人の希望に沿った介護・不安のない生活が出来る様に援助しています コミュニケーションを多くして本人の要望を聞き取るようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	いままでの生活歴 これからの生活についてお互い十分話し合い 早くに信頼関係が持てるようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状況・家族の思いを十分聞き 今必要なことをはなしあって決めています 入居前の見学を進めています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除・草取り・野菜作り等 本人の出来る事を一緒に行っています 解らないことなどはお聞きしています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と相談をしながら 支援しています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いままでの関係が 途切れることが無い様に 電話・手紙を書くなどの支援をしています	2ヶ月に1回、馴染みの理・美容院の訪問がある。 利用者の友人や家族等の来訪時には職員がお茶を入れたり、利用者が友人等と一緒に昼食を食べることができるよう取り計らうなど、寛いでゆっくり過ごせるよう配慮している。 職員は利用者の希望を受けて電話をかけたり、年賀状や礼状などの手紙を出す支援をし、馴染みの人との関係が途切れないように努めている。 事業所内に公衆電話を設置して利用者が自由に電話をかけられるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いのコミュニケーションが上手く取れるように援助し 自然な形で 支えあえるように援助しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	死亡退去が多いため あまりありません 入院中のお見舞い・面会をし 随時家族等にお知らせはしています	/	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者と話し合っ 家族の希望を踏まえ 検討している	職員は利用者に寄り添いながら、思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。思いを伝えられない利用者には、日頃の生活の中でどんな場面で笑顔を見せるかなどを感じ取り、一人ひとりの思いや希望にそった生活ができるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報を家族や利用者本人に聞いている 施設から サマリーを頂くこともあります	/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りを密にすることで 生活全般・心身状態を把握し 職員が共有出来る様にしている	/	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に会議や ミーティングを行って話し合っている	介護計画はサービス担当者会議を開催し、ケアチェック表等を参考にしながら、医療関係者等必要な関係者の意見を反映させて作成している。 利用者や家族等には電話や面会時等を利用して意見や要望を聴き、意向にそった介護計画になるよう取り組んでいる。 作成した介護計画は毎月の担当者会議で支援経過を見ながらモニタリングを行い、現状に即した介護計画になるよう見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日 ケース記録に一人ひとりの様子を記録し 共有して見直しに生かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じた 支援をしています		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアのお願いをする小学生との交流会 近隣の保育園の夏祭りなどに参加しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院が近くにありますが家族、本人の希望によりかかりつけ医の受診援助は行っていません 歯科受診は訪問があります	利用者や家族等の希望する医療機関で受診ができるよう支援している。 協力医療機関の医師による2週間に1回の訪問診療や外来受診を支援しているほか、毎週、訪問看護ステーションの看護師が来訪したり、提携歯科衛生士の口腔ケアの訪問がある。 職員は利用者や家族等が希望する耳鼻科等の受診や薬局への薬の受け取りを支援するとともに、受診結果を共有しながら適切な医療が受けられるよう努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気軽に相談できています		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族等の希望を聞きながら医師と相談し 早期退院が出来る様に話し合っています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で 本人・家族の意向を確認し その都度 対応している 医師・看護師・職員と その方針を共有できるようにしている	利用者の重度化に向けて早い段階から利用者や家族等と話し合い意向を確認しているが、重度化に向けた事業所の対応指針を作成するまでには至っていない。 利用者と家族等が安心して終末期を過ごせるよう支援するためのマニュアルの作成と、マニュアルにそった職員研修に取り組むまでには至っていない。	利用者が重度化した場合における事業所の対応指針を作成するとともに、利用者や家族等に説明し同意を得ることが望まれる。 全職員に重度化に向けた事業所の対応方針の共有を図るため、対応マニュアルを作成して職員研修に取り組むことを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルは作成し 掲示しています		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・災害時に避難できるユニ 消防署の協力を得て 定期的に 避難訓練を行っています	消防署の協力を得ながら年2回避難訓練や消 火訓練を実施するとともに、夜間を想定した避 難訓練を実施している。 避難訓練に近隣住民が参加するとともに、反 省点を記録している。 災害の発生に備えて法人が食糧や飲料水など を備蓄しているが、事業所独自に備蓄するまで には至っていない。	備蓄は法人だけでなく、事 業所も独自に食糧や飲料水な どを備蓄して管理簿を作成す ることが望まれる。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人 一人に合わせて対応し 言葉使いに注意しています	職員は排泄の誘導や入浴介助時には、利用者 のプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努 めている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に保管 するなど、情報が漏洩しないよう取り扱いには 十分注意をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から言葉掛けを多くして 信頼関係を築き自分の気持ちが 言えるように援助しています 又 本人の気持ちを確認するよ うな話かけも行っています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの流れは ありますが 自分のリズムで生活出来るよ うに援助しています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやお しゃれができるように支援してい る	訪問で 髪をカットしていただ いています 家族と共に家族 と出かけ かかりつけの理髪店 に行かれている方もいます 身だしなみがきちんと出来る様 に援助しています			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しく出来る様に配慮し配膳・下膳など出来る所では一緒に行っています	利用者は食事の準備や下膳、テーブル拭きなど、一人ひとりの能力に合わせた役わりを担っている。 職員は利用者と会話をしながら、一人ひとりの食事の早さに配慮してゆっくりと楽しく食事ができるよう支援している。 献立に利用者の希望を取り入れたり行事の時に生寿司を提供するなど、目先を変えて食事が楽しみなものとなるよう支援しているほか、おやつを手作りして家庭的な雰囲気味わえるよう工夫している。 近隣住民や家族等から採れたての野菜や卵、果物、漬物などのお裾分けがあり、食卓を賑わしている	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	きちんと食事が取れるように援助しています 水分 食事の摂取チェック表を記入しています		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアが出来る様に支援しています		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を活用し 誘導・声かけで トイレでの排泄が出来 失敗を少なくする 紙パンツから 布パンツになる方がいました	職員は排泄チェック表を活用して、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子や時間を見ながら声かけ誘導し、トイレで排泄ができるよう支援している。 全利用者がおむつを使用しなくて済むよう取り組むとともに、排泄の自立に向けた支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分 運動 食事で自然排便を促しています 腹部のマッサージをする 医師・看護師に相談をすることもあります		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回午前入浴になっていますが 自分のペースで ゆっくり入浴できるように配慮しています 入浴が楽しめるように 菖蒲湯・ゆず湯など工夫しています	入浴は週2回午前中となっており、利用者一人ひとりの希望にそった入浴の支援をするまでには至っていない。 入浴を拒む利用者には、時間をずらして声かけをするなど工夫をしている。 入浴が楽しみなものとなるよう、菖蒲湯、ゆず湯などの工夫をしている。	入浴の回数や時間など、職員の都合で決めてしまわず、アンケートを取るなどして利用者の希望を把握するとともに、夏はシャワー浴、冬は足浴を取り入れるなど工夫をし、可能な限り曜日や時間帯にとらわれない入浴支援ができるよう検討することが望まれる。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じて何時でも休めるように配慮していますが 夜 不眠とならないように援助しています		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師指示どおりに服用できるように支援しています 副作用・誤薬の無い様に注意しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日何かすることがあるような生活ができる様に支援しています 食料運び カーテンを閉める 掃除をする等		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩には良く出かけてはいますが近隣のみです 家族等の協力を得て 外出の支援はしています 千波湖周辺のドライブには行きました	利用者は天気の良い日には日常的に事業所の周辺を散歩している。 法人の車両を利用して遠出をしたり、その帰りに買い物をするなどの取り組みをしているが、事業所には車両が無いため、季節毎の外出などを積極的に支援するまでには至っていない。	職員が積極的に利用者の外出支援に取り組めるよう、担当の係を設けるなどの工夫を期待する。 事業所には車両が無いが、利用者が季節を感じながら外出を楽しんだり気分転換を図れるよう、法人に働きかけながら前向きに外出支援に取り組むことを期待する。
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理されている方もいますが 困難な方は 事務所にて管理 必要時に出して 自分で支払が行えるように援助しています		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を設置し自由に使用しています 代行で 電話・手紙を書くこともあります		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フローアや廊下に利用者の作品を飾り 季節の花を飾っています テレビの声の大きさ 窓の陽の強さにも配慮しています プライバシーにも配慮し トイレなどには カーテンで仕切れるようにしています	共用空間は光や温度の調節をし、加湿器で湿度の調整をしている。 クリスマスツリーなど季節毎の飾り付けをし、利用者が季節が感じられるよう工夫をしている。 手作りのカレンダーを壁に掛け、利用者が日にちを変える役割を担えるように工夫をしている。 利用者の手作り作品や観葉植物、季節の花を飾ったり、玄関前や廊下に長椅子やベンチを用意し、利用者が寛ぎながら居心地よく過ごせるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関前や廊下にベンチを設け自由に木津路ゲル様にしています 館内気の会う人同士がお互いに行き来し会話を楽しんでいます		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真本アルバムなど家族と相談しほん人の愛用の品を飾ったり持ち込めるように援助しています	利用者は居室に利用者の手作りの作品や写真を飾ったり、テレビやラジオ、鉢植、ぬいぐるみ、筆記用具等を持ち込んでいる。 居室には洗面台が備え付けられ、自立した生活を支援するとともに、できるだけ今までの暮らしを継続し、安心してその人らしく居心地よく暮らせるよう配慮している。 戦争に兵士として参加した利用者がその体験を思い出しながら、居室で手記を書いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりに合わせて自立支援を行っています トイレは電気を消さない（視力障害に配慮して） 場所の間違いが無い様に目印をつけたりしています		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが ○ 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームつつじ

作成日 平成23年6月1日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	事業所独自の備蓄がされていない。	事業所独自に備蓄がある。	飲料水や食糧にとどまらず、乾電池など非常用備品も用意し、管理簿で管理するようにしていきます。	1ヶ月
2	6	「身体拘束をしないケアの実践」の為のマニュアルを作成したり研修の記録を残すまでに至っていない	マニュアル作成	マニュアルを作成し研修を受講、内容を記録に残し、内部勉強会を行い、職員が理解を深められる様取り組んでいきます。	1年
3	49	事業所に車が無い	車を利用して外出が出来る。	車を利用した外出が出来る様、法人に引き続き働きかけていきます。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。